



大阪歯科大学

兵庫県同窓会報

'88夏

44

も く じ

あいさつ	村井会長	1
昭和63年度第1回総会		2
役員会		8
本部報告		12
大歯大同窓会役員名簿		14
本部ニュース		17
第1回クラス幹事会		18
盛況の学術講演会		19
クラス幹事だより		20



母校の名誉と発展のために

大阪歯科大学
兵庫県同窓会長

村井俊郎

大歯大兵庫県同窓会は会員数1500名を超え、大歯同窓全会員数の約13%を占めるに至っております。

一方、兵庫県歯科医師会の会員数が現在約2600名ですから、この点でも57%の規模となります。それだけに県歯科医師会での責任もきわめて大きいといえます。

大学の卒業生は官界や経済界や工業界や社会の各般の分野に進出してその職能を果たすわけですが、歯科大学や医科大学の卒業生はその殆んど全部が医療界でその役割を果たすことになっています。このことが歯科・医科系大学の最も特性の一つです。

わが母校の卒業生も皆がわが国の歯科界の中で活躍しています。

そして全国6万の歯科医師の中で約1万名もの同窓を有しているのですから現代のわが国の歯科医療における責任はきわめて大きいといわなければなりません。幸いにも優れた先輩が輝

かしい足跡を遺して下さいました。

現在の私達はこの偉大な業績を継承して母校の名誉と発展のため、そして現在から将来にわたる歯科医療のため努力しなければなりません。歯科界は今、多くの課題をかかえています。

しかし、困難な条件を克服して当面するこれらの課題を解決しなければなりません。

10月15日には兵庫県同窓会の会員大会を新築竣工したばかりの新神戸オリエンタルホテルで開催します。皆さんお誘い合わせの上参加して頂き、同窓の団結と親睦をはかって頂きたいと思っております。

皆が相集い共に乾杯し、談笑する機会こそ同窓会ならではの雰囲気が醸し出されると思っております。

向暑の折柄、同窓会員各位のご健勝を祈って止みません。

63年度事業計画 予算案などを可決

昭和63年度第1回大阪歯科大学兵庫県同窓会総会

昭和63年4月16日（土）



昭和63年度第1回大阪歯科大学兵庫県同窓会総会は、4月16日（土）午後4時より兵衛会館5階ホールで開催され、63年事業計画及び収入、支出予算など4議案を全員賛成で可決すると共に34回会員大会について協議した。

総会は志築専務の司会により、伊藤副会長が開会のことばを述べた後、議長に松本副会長を選出、議長より議事録署名人に前野（伊丹）、藤尾（東灘）両会員を指名して村井会長の挨拶にうつった。

【村井会長挨拶要旨】

好天の土曜日にもかかわらず多数お集まり下さり感謝している。3月26日に大歯同窓会本部の総会があり、奥野半蔵会長が勇退され奥野喜一氏が新会長に就任されることになった。

新会長の方針として、1万名をこす同窓であるが、これを活性化したいとのことであった。常務理事の強力な若返りを行いたい。役員人事について、専門22回以後で編成したいとのことであるが、組織部と渉外部は例外としたいとのことである。全体理事会は年に3回程度開催したい。常務理事会は年6回程度開催する。支部

長会は年1回、クラス代表会は年1回開催する。

10月1日に支部会長、クラス代表者を集め全国会員大会支援の全国会議を行う。また会則を改正して近代的にしたいとのことである。現在会則に名誉会長の条項がないので、その条項を加え改正が出来てから奥野前会長を名誉会長に推薦したい。それまでは顧問に就任していただくことになる。本年11月13日に行われる全国会員大会には29の歯科大学の幹部が来られるので、大学の団結を見てもらう絶好の機会であるのでぜひ成功させねばならない。総予算4000万



〈挨拶する村井会長〉

円、会費13,000円を予定している。

4月1日から発足した日本歯科医師会の役員は24名であり、その内大歯出身者は8名であり、常務理事は2名である。地区推薦理事が今回多かった。

兵庫県では8会合せて151名の役員が就任したが、その内大歯同窓は131名であるが、常任委員会は、県下の15歯科大学の同窓会の方々にも参画していただきたいとの考えで各同窓会の会長から推薦の名簿を提出していただいて編成した。大歯出身者は83名である。

これからは新しい時代に対応してやっていかねばならないと思っている。

ついで学位受領者の表彰にうつり、今年度学位を受領された9名の先生方に村井会長より表彰状と記念品が贈られ、受領者を代表して淀泰尚先生より謝辞があった。



<村井会長より表彰状の贈呈>

【学位受領者】

氏名	卒回	地区名	受領日
淀 泰尚	大14	北 但	昭和62年 6月10日
八十 一博	大24	姫路市	昭和62年12月 9日
永谷 敏	大28	西脇多可	〃
梶 隆一	大27	兵庫区	〃
坪井 新一	大24	伊丹市	〃
森 祐俊	大32	明石市	昭和63年 3月19日
大塚 拓三	大22	神崎郡	昭和63年 3月23日
斉藤 誠一	大26	須磨区	〃
馬場 弘	大 9	津名郡	昭和63年 1月20日

【報告】

1) 会務報告 志築専務

会員数 1,490名、内訳は以下のごとくである。

神戸分会	東灘支部	68名
〃	灘支部	56
〃	中央支部	127
〃	兵庫支部	61
〃	長田支部	53
〃	須磨支部	44
〃	垂水支部	40
〃	北支部	37
〃	西支部	14
〃	明石支部	63
〃	三田支部	9
尼崎分会		185
西宮分会		172
摂津分会	伊丹支部	45
〃	川西支部	29
〃	宝塚支部	49
〃	芦屋支部	32
播磨分会	三木美囊支部	15
〃	小野加東支部	14
〃	西脇多可支部	16
〃	加西支部	11
〃	播磨支部	66
〃	姫路神崎支部	132
〃	揖竜支部	16
〃	宍粟支部	10
〃	西播佐用支部	27
丹波分会	多紀支部	10
〃	氷上支部	17
但馬分会	南但支部	11
〃	北但支部	17
〃	美方支部	7
淡路分会	洲本支部	17
〃	津名支部	10
〃	三原支部	13

物故会員は以下の9名の先生方であり弔意黙
禱を行った。

氏名	地区	卒回	年齢	死亡年月日
関口亮三	西宮市	専13	77歳	62年4月6日
古川鉄美	尼崎市	医	76歳	62年4月7日
原 勝弘	姫路市	大8	53歳	62年5月18日
石井岩市	三原郡	医	92歳	62年8月2日
西尾芳博	灘 区	大12	48歳	62年9月19日
原八治郎	加西市	専15	76歳	62年11月16日
村上 修	多可郡	専16	73歳	62年12月21日
相羽 響	兵庫区	医	79歳	63年1月12日
重岡 巖	尼崎市	専19	71歳	63年2月20日

諸会議は昭和62年6月28日に役員会、同日分
会長・支部長会。12月11日役員会。昭和63年2
月13日にクラス幹事会。2月20日に役員会。そ
の他名簿編集委員会、広報部会をそれぞれ開催
している。事業としては昭和62年8月1日第33
回会員大会、昭和63年2月13日に元東京歯科大
学教授河邊清治先生を招いて『無歯顎の臨床』
と題して学術講演会を行った。

2) 会計報告 河合常任理事

3) 本部報告 志築専務理事

別掲の資料により本部会員の現況により説
明があった。

なお本年度の夏期研修会は7月30日、31日の
両日愛媛県の松山市で開催される。



〈なごやかに懇親の輪〉

【議事】

1) 第1号議案 昭和62年度収入支出補正予算
別掲

2) 第2号議案 昭和62年度収入支出決算
別掲

ここで和田監事より監査の結果、業務は適正
に遂行されている旨の監査報告があった。

3) 第3号議案 昭和63年度事業計画及び昭和
63年度収入支出予算
別掲

4) 第4号議案 会費の額及び徴収方法
会費の額 年額 12,000円(2回徴収)
徴収方法 社保診療報酬から差し引く

以上4議案は提案説明の後いずれも全員賛成
で可決された。

つづいて協議にうつり、第34回会員大会につ
いて岡田神戸分会長より説明があった。神戸分
会の担当で63年10月15日(土)3時より新神戸
オリエンタルホテル10階真珠の間で開催する。
3時から4時までで式典、4時から5時まで警察
医会のお世話で県警音楽隊の演奏を聞いていた
だくことになっている。5時から6時30分迄は
懇親会ということで、会費は10,000円を予定し
ているとのことである。

その他としては北(姫路市)会員より村井会
長が日歯副会長として十分活躍出来るように同
窓会として十分考えてほしいとの要望があった
後、長濱副会長の閉会のことばで終了した。

なお総会終了後三宮「神仙閣」において懇親
会が開催され、多数の会員が出席して懇親の輪
を拡げた。



第1号議案 昭和62年度 収入支出補正予算
昭和62年度大阪歯科大学兵庫県同窓会収入支出補正予算書

収 入 額 21,576,304円
支 出 額 21,576,304円

収 入 の 部

科 目	補正予算	本年度予算	比 較		摘 要
			増	減	
第一款 会 費	16,980,000	17,400,000		420,000	
第1項 会 費	16,980,000	17,400,000		420,000	
第二款 雑 収 入	1,531,000	1,501,000	30,000		
第1項 雑 入	30,000	50,000		20,000	
第2項 寄 付 金	1,000	1,000			
第3項 本部手数料	1,500,000	1,450,000	50,000		
第三款 繰 越 金	3,065,304	3,000,000	65,304		
第1項 繰 越 金	3,065,304	3,000,000	65,304		
合 計	21,576,304	21,901,000		324,696	

支 出 の 部

科 目	補正予算	本年度予算	比 較		摘 要
			増	減	
第一款 事 務 費	5,830,000	6,200,000		370,000	
第1項 事 務 費	2,500,000	3,000,000		500,000	
第2項 旅 費	1,200,000	1,200,000			
第3項 通信印刷費	1,700,000	1,500,000	200,000		
第4項 消耗品費	300,000	300,000			
第5項 雑 費	130,000	200,000		70,000	
第二款 会 議 費	2,500,000	4,000,000		1,500,000	
第1項 会 議 費	2,500,000	4,000,000		1,500,000	
第三款 事 業 費	11,230,000	10,550,000	680,000		
第1項 学 術 費	600,000	1,000,000		400,000	
第2項 広報宣伝費	230,000	200,000	30,000		
第3項 福祉厚生費	3,500,000	4,000,000		500,000	
第4項 会務連絡費	1,600,000	1,000,000	600,000		
第5項 表彰慶弔費	700,000	850,000		150,000	
第6項 諸見舞金	1,300,000	1,000,000	300,000		
第7項 渉 外 費	2,300,000	2,500,000		200,000	
第8項 時局対策関係費	1,000,000	0	1,000,000		新設 時局対策積立金会計へ支出
第四款 予 備 費	2,016,304	1,151,000	865,304		
第1項 予 備 費	2,016,304	1,151,000	865,304		
合 計	21,576,304	21,901,000		324,696	

第2号議案 昭和62年度 収入支出決算
昭和62年度大阪歯科大学兵庫県同窓会収入支出決算書

収 入 額 21,252,243円
支 出 額 19,020,884円
差引収支差額 2,231,359円

収 入 の 部

科 目	決 算 額	本年度予算額	比 較		摘 要
			増	減	
第一款 会 費	16,656,000	16,980,000		324,000	
第1項 会 費	16,656,000	16,980,000		324,000	
第二款 雑 収 入	1,530,939	1,531,000		61	
第1項 雑 入	30,939	30,000	939		
第2項 寄 付 金	0	1,000		1,000	
第3項 本 部 手 数 料	1,500,000	1,500,000			
第三款 繰 越 金	3,065,304	3,065,304			
第1項 繰 越 金	3,065,304	3,065,304			
合 計	21,252,243	21,576,304		324,061	

支 出 の 部

科 目	決 算 額	本年度予算額	比 較		摘 要
			増	減	
第一款 事 務 費	5,647,096	5,830,000		182,904	
第1項 事 務 費	2,445,000	2,500,000		55,000	
第2項 旅 費	1,053,990	1,200,000		146,010	
第3項 通 信 印 刷 費	1,709,860	1,700,000	9,860		
第4項 消 耗 品 費	311,582	300,000	11,582		
第5項 雑 費	126,664	130,000		3,336	
第二款 会 議 費	2,301,210	2,500,000		198,790	
第1項 会 議 費	2,301,210	2,500,000		198,790	
第三款 事 業 費	11,072,578	11,230,000		157,422	
第1項 学 術 費	552,575	600,000		47,425	
第2項 広 報 宣 伝 費	230,000	230,000			
第3項 福 祉 厚 生 費	3,498,003	3,500,000		1,997	
第4項 会 務 連 絡 費	1,558,000	1,600,000		42,000	
第5項 表 彰 慶 弔 費	652,900	700,000		47,100	
第6項 諸 見 舞 金	1,280,000	1,300,000		20,000	
第7項 渉 外 費	2,301,100	2,300,000	1,100		
第8項 時 局 対 策 関 係 費	1,000,000	1,000,000			時局対策積立金会計へ支出
第四款 予 備 費	0	2,016,304		2,016,304	
第1項 予 備 費	0	2,016,304		2,016,304	
合 計	19,020,884	21,576,304		2,555,420	

第3号議案 昭和63年度収入支出予算
昭和63年度大阪歯科大学兵庫県同窓会収入支出予算書

収 入 額 21,241,000円
支 出 額 21,241,000円

収入の部

科 目	本年度予算	前年度予算	比 較		摘 要
			増	減	
第一款 会 費	17,640,000	16,980,000	660,000		月1,000円×12ヶ月×1,470名
第1項 会 費	17,640,000	16,980,000	660,000		
第二款 雑 収 入	1,601,000	1,531,000	70,000		
第1項 雑 入	30,000	30,000			預金利子
第2項 寄 付 金	1,000	1,000			
第3項 本部手数料	1,570,000	1,500,000	70,000		10,000円×1,470名×10% 本部より過年度分含む
第三款 繰 越 金	2,000,000	3,065,304		1,065,304	
第1項 繰 越 金	2,000,000	3,065,304		1,065,304	
合 計	21,241,000	21,576,304		335,304	

支出の部

科 目	本年度予算	前年度予算	比 較		摘 要
			増	減	
第一款 事 務 費	5,000,000	5,830,000		830,000	
第1項 事 務 費	2,500,000	2,500,000			
第2項 旅 費	1,200,000	1,200,000			
第3項 通信印刷費	800,000	1,700,000		900,000	
第4項 消耗品費	300,000	300,000			事務用品
第5項 雑 費	200,000	130,000	70,000		
第二款 会 議 費	3,000,000	2,500,000	500,000		
第1項 会 議 費	3,000,000	2,500,000	500,000		役員会・常任理事会
第三款 事 業 費	12,600,000	11,230,000	1,370,000		
第1項 学 術 費	1,000,000	600,000	400,000		
第2項 広報宣伝費	600,000	230,000	370,000		会報発行
第3項 福祉厚生費	3,500,000	3,500,000			
第4項 会務連絡費	1,500,000	1,600,000		100,000	幹事会
第5項 表彰慶弔費	1,000,000	700,000	300,000		
第6項 諸見舞金	1,000,000	1,300,000		300,000	◎20,000×50名
第7項 渉外費	2,000,000	2,300,000		300,000	
第8項 時局対策関係費	2,000,000	1,000,000	1,000,000		時局対策積立金会計へ支出
第四款 予 備 費	641,000	2,016,304		1,375,304	
第1項 予 備 費	641,000	2,016,304		1,375,304	
合 計	21,241,000	21,576,304		335,304	

自然増は予備費へ繰り入れ

第4号議案 昭和63年度事業計画及び昭和63年度収入支出予算

昭和63年度
事業計画書

1. 会員の学術研修に関する事項
2. 会員の福祉共済に関する事項
3. 第34回大歯大兵庫県同窓会会員大会の開催
4. 慶弔に関する事項
5. 会報の発行
6. 各歯科大学同窓会・校友会との親睦に関する事項
7. 渉外に関する事項
8. その他目的達成のために必要な事項

大阪歯科大学兵庫県同窓会役員会

63年度第1回役員会

63年4月16日（日）

63年度の第1回大阪歯科大学兵庫県同窓会役員会は、総会にさきがけ4月16日（日）午後3時から兵歯会館5階ホールで開かれた。

役員会は志築専務の司会で、伊藤副会長の開会のことばのあと、議長に松本副会長が選出。議事録署名人に今井 章（川西市）、西田真知（中央区）の両氏が議長より指名されたあと、村井会長が要次のように挨拶した。

〔村井会長あいさつ要旨〕

同窓会本部は10期20年間続いた奥野半蔵同窓会会長が今回ご勇退され、3月26日に開かれた62年度定時総会において、万場一致で大阪府の会長である奥野喜一先生が第12代の同窓会会長に決まった。いよいよ新執行部が発足する。

ご承知のとおり、本年は全国会員大会が新装の都ホテルで11月13日（日）に開催されるが、大会テーマが「団結と躍進」であり、新執行部が一丸となって真価を示すよい機会だと思う。また、本県の同窓会も10月に会員大会をニューオリエンタルホテルで開くが、例年どおり一大イベントになろうかと思う。

後刻の総会には重要案件もあり慎重審議をよろしく願いたい。

〔報告〕

志築専務より諸会議等の会務報告、河合常任理事より補正予算ならびに決算の会計報告のあと、本報報告では、去る3月26日に開かれた昭和62年度定時総会の詳細な報告が志築本部常務よりなされた。

〔協議〕

1) 総会開催について

後刻の総会に付議する案件について志築専務より説明があり、了承した。

なお、総会で広報誌刷新に関して担当の橋本常任理事より説明するとの報告があった。

2) 第34回会員大会について

当番分会の岡田神戸分会長より「本年は10月15日（土）に9月にオープンするニューオリエンタルホテル・真珠の間（10F）で会員大会を開催したい。約600席程度を用意しており、県警のプラスバンドを招く予定もあり挙って参加していただきたい」との説明があった。

協議のあと、長濱副会長の閉会のことばで日程を終了した。

昭和62年度大阪歯科大学兵庫県同窓会役員会は、昭和62年12月11日（金）午後7時より兵衛会館2階会議室で開催され、昭和62年度補正予算、昭和62年度事業計画、予算などについて協議した。

役員会は志築専務の司会により渡邊副会長が「奥野半蔵会長が11月中旬老人性白内障で県立尼崎病院に入院され手術を受けられた。経過は良いが代行を置くということで奥野喜一氏が会長代行として同窓会の会務執行に当たっている。

また63年11月13日には全国会員大会が開催されるので京都府が準備に当たっている。」と開会ことばを述べた後、議長に松本副会長を選出、岡田（尼崎）、志水（神崎）両氏を議事録署名人に指名して村井会長の挨拶に移った。

【村井会長挨拶要旨】

現在兵衛会員は2560名で、大歯卒業生は1500名で約52%の率である。最近是他校の卒業生の入会が多いので占有率の低下はしかたがないが、大歯同窓会としても気を使いながらやっていかねばならない。しかし52%というのは大きな勢力であって、これも責任を要求されるという面もある。本日は63年の事業、予算、会員大会などをご相談したい。また63年は本部の全国大会の開催される年である。よろしくご審議願いたい。



＜挨拶する村井会長＞

【報告】

- 1) 会務報告 志築専務理事
62年4月以降の6名の物故会員に弔意黙祷を行った。
- 2) 会計報告 河合常任理事
- 3) 同窓会本部報告 志築専務理事

【協議】

- 1) 昭和62年度補正予算について
時局対策関係費150万円を新設した（別紙資料）会員挙手賛成で可決
- 2) 昭和63年度事業計画について
 1. 会員の学術研修に関する事項
 2. 会員の福祉共済に関する事項
 3. 第34回大歯大兵庫県同窓会会員大会の開催
 4. 慶弔に関する事項
 5. 会報の発行
 6. 各歯科大学同窓会・校友会との親睦に関する事項
 7. 渉外に関する事項
 8. その他目的達成のために必要な事項

可決
- 3) 昭和63年度収入支出予算について
収入、支出共 22,161,000円

可決
- 4) 学術講演会について
昭和63年2月13日（土）に元東京歯科大学教授渡邊清治氏を招いて講演会を開催する。多数の参加をお願いする。
- 5) クラス幹事会について
2月13日学術講演会開催の日の12時30分より開催する。事務連絡補助費を当日お渡ししたい。
- 6) 会員大会について 飯田常任理事
63年10月15日（土）3時より神戸オリエンタルホテルで開催するよう契約している。500人以上の参加を予定している。
会費は8,000円位ではいかがかと思っている。



＜推薦文を読み上げる松本副会長と村井会長＞

7) その他

志築専務より11月29日に県下同窓会役員連絡協議会で他校より次期兵歯会長として村井会長の推薦が決定している。大歯としては自重して来たが他校から推薦が出ているということで、大歯兵庫県同窓会として推薦の決議をしたいという説明があり、全員賛成により松本副会長より村井会長に推薦状が手渡され全日程を終了した。

62年度第3回役員会

63年2月20日（土）



＜挨拶する村井会長＞

昭和62年度第3回大阪歯科大学兵庫県同窓会役員会が、2月20日（土）12時30分から兵歯会館2階会議室で開かれ、役員約80人が出席し、当面する時局問題、特に次期日歯役員選挙について協議した。

会は志築専務の司会、松本副会長の開会で始められ、長浜副会長を議長に選出し、議事録署名人に橋川司（兵庫）、河村宏（西宮）の両氏を指名した。

村井会長は挨拶で「1月29日に無競争で兵歯会長に当選させていただいた。公約の実現に向けて全力投球したい。兵歯会員2,550余名中、

1,500余名が大歯出身者で兵歯会務執行にあたりその果たす役割りは大きなウエイトを占めている。

県内における歯科医療を円滑化するため、諸問題の解決に向けて努力したい。行政当局との連係で、兵歯が要望した5項目の事業推進に対し、63年度県予算に組み込まれることになった。健やかな高齢化社会づくりの一翼を荷なう立場から努力を続けたい。

いずれにしても、大歯同窓会が兵歯会務執行の主力となって運営にあたるわけで一層のご協力をお願いしたい」と述べた。

報 告

会務報告（志築専務）

2月13日（土）クラス幹事会並びに役員会で140人が出席、同日開かれた学術講演会（講師河辺清治氏）には300人出席した。

今夕6時30分から日歯代議員を擁する県下7歯科大学同窓会・校友会の役員を招いて時局対策を開く予定。

会計報告（河合常任）

63年1月末現在の収支状況を報告

収入 2,106万8,208円（執行率95%）

支出 1,422万8,137円（執行率65%）

同窓会本部報告（志築専務）

先週（2月13日）開催の役員会で報告の通りで、追加なし。

報告に対する質疑はなく、全員了承して協議に移った。

協 議

※ 当面の諸問題について

中塚常任が診療報酬の積み残しに関して、その背景にある技工料問題の経緯を説明、その後の日歯の対応、兵歯理事会の声明書、近北会長会の辞職勧告、これに基づく近北地区から次期日歯役員推薦の経緯を詳細に説明したあと、村井会長が、日歯副会長候補を受けざるを得なくなった理由を述べた。

現在の副会長立候補予定者の顔ぶれは、九州3地区（九州・中国・四国）から持山福岡県歯会長、近北地区から村井会長、関東地区から現職の秋山副会長、日大歯から佐藤山形県歯会長の4氏である。

現在、村井会長は近北地区の強力な推薦のもとに、24日の立候補届けに向けて準備中であるが、大歯兵庫県同窓会の心強い、熱烈なご支援をおねがいしたい、と熱弁をふるった。

これを受けて志築専務が、風林火山の気持ちで村井会長が第1副会長で当選されるよう、大歯兵庫県同窓会の総意で、全員一致で推挙したいと発言し「村井会長の日歯副会長選の高位当選を目指して全会一致で応援する」ことを拍手のうちに決議した。

ここで、村井会長が次期日歯副会長選の立候補推薦を受理した経過と副会長候補者現況を説明したあと「再三再四の固辞にもかかわらず、他府県の強い要請があり近北12,000余名の名誉のためにも受けざるを得なくなり出馬を決意した。

決意した限りは、全力を挙げてこの選挙戦に突入し、大歯の名誉をかけて善戦したい」と力強い出馬宣言をした。

このあと、必勝を期して全員の力強い拍手に送られ、最後に伊藤副会長の閉会で日程を終了した。



＜経過説明する中塚常任理事＞

＝ 本 部 報 告 ＝

【資 料】

会 員 (昭和63年 3月12日現在)

(1) 会 員 数 12,769名 現 在 数 9,893名
 死亡会員 2,627名 不 明 249名

(2) 会員の分類

(A) 出身別分類

卒業年次	出身校	卒業数	現在数	死亡数	不明数
明治45年～大正8年	大阪歯科医学校	417	19	261	137
大正9年～昭和27年	専門1回～専門32回	4,843	2,614	2,141	88
昭和11年～昭和16年	歯科医学校(定時)	60	36	21	3
昭和23年～昭和28年	厚生省委託修練生	27	13	10	4
昭和28年～昭和62年	大学1回～大学35回	7,207	7,073	121	13
	京 城	102	70	28	4
	他校出身者及賛助会員	113	68	45	0
	合 計	12,769	9,893	2,627	249

(B) 専門卒業回数別分類

卒 回	卒業数	現在数	死亡数	不明数	卒 回	卒業数	現在数	死亡数	不明数
専 1	56	3	49	4	専 18	130	67	56	7
◇ 2	83	8	75	0	◇ 19	132	63	62	7
◇ 3	64	2	58	4	◇ 20	125	63	62	0
◇ 4	93	11	79	3	◇ 21	147	94	52	1
◇ 5	132	15	111	6	◇ 22	126	69	49	8
◇ 6	184	26	154	4	◇ 23	126	78	45	3
◇ 7	148	29	117	2	◇ 24	153	94	54	5
◇ 8	122	29	90	3	◇ 25	179	137	41	1
◇ 9	124	34	89	1	◇ 26	172	129	41	2
◇ 10	148	36	107	5	◇ 27	154	121	32	1
◇ 11	142	48	92	2	◇ 28	179	150	26	3
◇ 12	141	56	84	1	◇ 29	244	217	24	3
◇ 13	148	58	89	1	◇ 30	269	235	32	2
◇ 14	158	61	95	2	◇ 31	187	164	23	0
◇ 15	160	78	82	0	◇ 32	322	284	33	5
◇ 16	170	83	86	1					
◇ 17	125	72	52	1	合 計	4,843	2,614	2,141	88

(C) 大学卒業回数別分類

卒 回	卒業数	現在数	死亡数	不明数	卒 回	卒業数	現在数	死亡数	不明数
大 1	67	65	2	0	大 19	245	242	2	1
◇ 2	103	94	9	0	◇ 20	258	255	2	1
◇ 3	140	134	6	0	◇ 21	287	285	2	0
◇ 4	100	94	4	2	◇ 22	253	251	2	0
◇ 5	165	150	14	1	◇ 23	256	253	3	0
◇ 6	162	153	9	0	◇ 24	227	227	0	0
◇ 7	175	166	9	0	◇ 25	238	236	2	0
◇ 8	219	212	4	3	◇ 26	237	235	2	0
◇ 9	202	197	5	0	◇ 27	217	217	0	0
◇ 10	236	230	5	1	◇ 28	212	212	0	0
◇ 11	242	227	14	1	◇ 29	219	219	0	0
◇ 12	231	224	7	0	◇ 30	228	228	0	0
◇ 13	246	239	7	0	◇ 31	215	215	0	0
◇ 14	247	237	8	2	◇ 32	176	176	0	0
◇ 15	220	219	1	0	◇ 33	185	185	0	0
◇ 16	192	192	0	0	◇ 34	168	168	0	0
◇ 17	227	225	1	1	◇ 35	174	174	0	0
◇ 18	238	237	1	0	合 計	7,073	7,073	121	13

(D) 支部会員数

支 部	会員数	支 部	会員数	支 部	会員数	支 部	会員数	支 部	会員数
北海道	82	愛知県	252	京都府	897	島根県	48	大分県	53
青森県	6	岐阜県	125	奈良県	426	香川県	117	宮崎県	58
秋田県	3	三重県	190	和歌山県	273	徳島県	135	鹿児島県	61
岩手県	7	新潟県	10	大阪府	3,759	愛媛県	140	沖縄県	13
山形県	2	長野県	12	兵庫県	1,570	高知県	81	海 外	42
宮城県	3	富山県	25	岡山県	314	福岡県	66		
福島県	5	石川県	119	広島県	272	佐賀県	24		
関 東	178	福井県	45	山口県	117	長崎県	46		
静岡県	34	滋賀県	178	鳥取県	73	熊本県	32	合 計	9,893

大 歯 大 同 窓 会 役 員

(昭和63・64年度)

役 名	氏 名	卒回	支 部	役 名	氏 名	卒回	支 部
会 長	奥 野 喜 一	専22	大 阪 府	常務理事 (会計)	三 谷 卓	◇ 8	大 阪 府
副 会 長	森 宏	◇22	三 重 県	(渉外)	緒 方 満	◇10	大 阪 府
◇	村 井 俊 郎	◇25	兵 庫 県	(渉外)	岡 邦 恭	◇11	大 阪 府
◇	森 本 太 郎	◇25	岡 山 県	(庶務)	橋 本 猛 伸	◇12	兵 庫 県
◇	山 崎 弘	◇25	宮 崎 県	(学術)	田 治 米 保 夫	◇12	大 阪 府
◇	野 添 静 里	◇27	京 都 府	(学術)	黒 川 森 夫	◇12	大 阪 府
◇	益 川 武 夫	◇27	愛 知 県	(編集)	井 堂 孝 純	大13	兵 庫 県
◇	有 山 金 吾	◇28	奈 良 県	(渉外)	松 田 毅	◇13	大 阪 府
◇	松 本 博	◇28	大 阪 府	(学術)	冨 井 章	◇14	京 都 府
◇	村 上 勝	◇28	京 都 府	庶 務 部			
◇	西 浦 恂	◇28	大 阪 府	理 事	高 垣 雄 二 郎	専22	大 阪 府
◇	渡 部 潔	◇32	兵 庫 県	◇	大 内 弘	◇28	大 阪 府
専務理事	新 田 孟	◇30	大 阪 府	◇	吉 田 厚 雄	◇31	大 阪 府
常務理事 (組織)	井 田 勝 造	◇24	滋 賀 県	◇	那 須 義 文	◇32	大 阪 府
(渉外)	志 築 照 和	◇28	兵 庫 県	◇	野 村 実	◇32	石 川 県
(組織)	田 中 正 忠	◇28	大 阪 府	◇	志 水 和 夫	◇32	兵 庫 県
(渉外)	辻 本 信 輝	◇29	和 歌 山 県	◇	美 田 良 治	◇32	兵 庫 県
(組織)	加 藤 喜 久 雄	◇29	大 阪 府	◇	加 藤 英 世	大 1	愛 知 県
(福祉)	伊 藤 彰 彦	◇29	兵 庫 県	◇	山 本 直 哉	◇ 1	滋 賀 県
(組織)	山 口 昭 郎	◇29	関 東	◇	山 口 良 郎	◇ 2	大 阪 府
(福祉)	品 川 武 人	◇30	奈 良 県	◇	嘉 海 昭 吾	◇ 3	兵 庫 県
(福祉)	上 領 清 範	◇31	大 阪 府	◇	岡 田 利 雄	◇ 4	兵 庫 県
(渉外)	竹 内 太 郎	◇31	石 川 県	◇	福 原 英 晃	◇ 5	大 阪 府
(渉外)	中 塚 裕	◇32	兵 庫 県	◇	前 田 孝 俊	◇ 5	兵 庫 県
(組織)	鶴 田 昭 雄	◇32	香 川 県	◇	野 阪 洋	◇ 6	奈 良 県
(渉外)	長 濱 禎 昭	大 1	兵 庫 県	◇	三 村 敏 郎	◇ 7	大 阪 府
(学術)	岡 本 圭 史	◇ 2	大 阪 府	◇	富 田 之 康	◇ 8	大 阪 府
(編集)	藤 原 一 成	◇ 3	大 阪 府	◇	田 中 利 幸	◇10	大 阪 府
(福祉)	新 海 研 志	◇ 3	大 阪 府	◇	吉 田 隆 行	◇12	岡 山 県
(組織)	坂 本 茂 樹	◇ 3	岡 山 県	◇	蒲 生 洵	◇15	大 阪 府
(組織)	田 中 紀 生	◇ 4	広 島 県	◇	岡 本 学	◇16	大 阪 府
(庶務)	水 谷 光 孝	◇ 5	京 都 府	◇	山 崎 一 郎	◇19	大 阪 府
(渉外)	沢 田 稔	◇ 7	大 阪 府				

役名	氏名	卒回	支部	役名	氏名	卒回	支部
会 計 部							
理事	川口秀夫	専22	大阪府	理事	藤田鉄一	専29	山口県
〃	矢谷澄	〃26	大阪府	〃	長井圭作	〃30	三重県
〃	多名部金徳	〃30	大阪府	〃	井上敏治	〃31	大阪府
〃	横田健三	〃30	大阪府	〃	白石好夫	〃32	岡山県
〃	牛嶋奎宇	〃32	大阪府	〃	佐久間正敏	〃32	島根県
〃	今井政一	〃32	大阪府	〃	磯貝満彦	〃32	愛知県
〃	杉原良二	〃32	大阪府	〃	山元祐次	大1	滋賀県
〃	斉藤精司	大3	京都府	〃	村上義和	〃4	福岡県
〃	山村純雄	〃4	大阪府	〃	光満寛守	〃6	大阪府
〃	井上弘	〃7	大阪府	〃	宮尾昌顯	〃8	和歌山県
〃	三坂明美	〃7	兵庫県	〃	桜井守	〃8	滋賀県
〃	森田龍雄	〃10	大阪府	〃	安田修	〃8	愛知県
〃	津谷功	〃12	兵庫県	〃	吉田耕次	〃9	大阪府
〃	米田撰郎	〃12	奈良県	〃	西岡忠文	〃10	香川県
〃	小室智勝	〃13	大阪府	〃	林秀彦	〃10	奈良県
〃	中谷勝	〃15	大阪府	〃	田中清隆	〃10	岐阜県
組 織 部							
理事	久保昌弘	専17	和歌山県	〃	竜門逸弘	〃11	大阪府
〃	磯島吉之祐	〃20	兵庫県	〃	野洌秀孝	〃13	大阪府
〃	橘高邦典	〃22	大阪府	〃	坪井康修	〃14	大阪府
〃	安田良三	〃23	大阪府	〃	大江正倫	〃14	奈良県
〃	有本武二	〃23	京都府	〃	蓮舎勝克	〃18	大阪府
〃	広田昌逸	〃25	兵庫県	〃	森井徹雄	〃20	富山県
〃	島津徹	〃25	兵庫県	〃	太田謙司	〃23	大阪府
〃	多田一夫	〃26	滋賀県	学 術 部			
〃	田村正	〃26	兵庫県	理事	岡崎卓司	専24	大阪府
〃	瀧野俊一	〃26	兵庫県	〃	片尾信之	〃24	京都府
〃	木村幸三郎	〃27	大阪府	〃	鈴木能弘	〃25	京都府
〃	榎本哲夫	〃28	奈良県	〃	花岡繁一	〃27	奈良県
〃	吉光照夫	〃28	広島県	〃	大塚礼三	〃30	大阪府
〃	杉沢健司	〃28	北海道	〃	上田正治	〃30	京都府
〃	加藤幸男	〃29	大阪府	〃	増田勝美	〃31	兵庫県
〃	松本治男	〃29	鳥取県	〃	成瀬悟	〃31	大阪府
〃	平井康允	〃29	奈良県	〃	鈴木住尚	〃32	和歌山県
				〃	坂口可子	〃32	大阪府
				〃	西田真和	大2	兵庫県

役名	氏名	卒回	支部	役名	氏名	卒回	支部
理事	久保龍三	大5	兵庫県	理事	服部素直	大10	京都府
〃	岩崎重信	〃6	京都府	〃	稲塚英樹	〃11	京都府
〃	飛田昇	〃6	京都府	〃	山中通史	〃11	和歌山県
〃	井上英美	〃7	大阪府	〃	明石貴雄	〃12	兵庫県
〃	今中一雄	〃7	奈良県	〃	下岡史男	〃14	奈良県
〃	井関功	〃8	和歌山県	〃	杉本憲治	〃15	大阪府
〃	野阪嵩	〃8	奈良県	〃	山口隆久	〃15	大阪府
〃	岩崎延直	〃8	和歌山県	〃	浅田真琴	〃15	京都府
〃	富永才助	〃9	滋賀県	〃	服部孝司	〃15	岡山県
〃	中村守良	〃9	大阪府	編集部			
〃	谷茂樹	〃9	兵庫県	理事	川村幸雄	大3	兵庫県
〃	井上浩一	〃9	岡山県	〃	村田安充	〃4	大阪府
〃	土井昭勝	〃11	大阪府	〃	天方孝彦	〃4	兵庫県
〃	森弘温	〃11	大阪府	〃	米本優	〃9	奈良県
〃	太田利光	〃15	大阪府	〃	水田吉彦	〃10	兵庫県
〃	大谷弘	〃15	大阪府	〃	菱田稔	〃11	大阪府
〃	住谷道夫	〃15	兵庫県	〃	後藤進	〃13	大阪府
〃	小室樹	〃17	大阪府	〃	金田順三	〃13	大阪府
〃	小林徹	〃18	兵庫県	〃	山口省三	〃13	兵庫県
福祉部				〃	豊川輝久	〃16	兵庫県
理事	守下辰弘	専22	大阪府	〃	井芹令雄	〃17	兵庫県
〃	内海利正	〃24	兵庫県	〃	濱田明嗣	〃18	京都府
〃	寺西敏一	〃25	兵庫県	〃	岩井康容	〃20	大阪府
〃	山崎泰義	〃29	広島県	〃	比良野政彦	〃20	大阪府
〃	小林三郎	〃30	大阪府	渉外部			
〃	入江正信	〃31	大阪府	理事	大浦波夫	専18	兵庫県
〃	榊茂光	〃31	京都府	〃	木庭茂	〃25	岡山県
〃	上西淳伺	〃32	和歌山県	〃	田中勇雄	〃26	三重県
〃	三浦康宏	〃32	大阪府	〃	和中光次	〃26	和歌山県
〃	加藤武男	〃32	滋賀県	〃	福岡保郎	〃27	奈良県
〃	下村錢三郎	大7	大阪府	〃	久木竹久	〃28	滋賀県
〃	龍門睦正	〃8	大阪府	〃	松島悌二	〃28	広島県
〃	石堂越夫	〃9	大阪府	〃	河内悌治郎	〃28	愛媛県
〃	奥田正計	〃10	大阪府	〃	善本秀知	〃29	兵庫県
〃	香山義茂	〃10	岡山県				

本部 ニュース

大阪歯科大学同窓会第12代会長 奥野喜一氏（専22回）に決まる



奥野喜一会長

大阪歯科大学同窓会第12代会長 奥野喜一氏（専22回）に決まる。

昭和43年4月から昭和63年3月迄、10期20年間続いた第11代奥野半蔵同窓会会長が、今回ご勇退され、昭和63年3月26日、62年度定時総会に於て万場一致で第12代大阪歯科大学同窓会会長に奥野喜一氏（専22回）が推薦せられ決定した。

名簿前頁のつづき

役名	氏名	卒回	支部	役名	氏名	卒回	支部
理事	諸頭昌彦	専29	滋賀県	顧問、相談役			
	南木秀夫	ㄨ30	兵庫県	顧問	奥野半蔵	専6	兵庫県
	内藤清	ㄨ31	愛知県	ㄨ	宮田慶三郎	ㄨ11	関東
	木村慎一郎	ㄨ32	大阪府	ㄨ	北川正夫	ㄨ14	京都府
	野村靖夫	ㄨ32	宮崎県	ㄨ	多和敏一	ㄨ14	関東
	上田務	大1	鳥取県	ㄨ	森政和	ㄨ26	大阪府
	藤井啓史	ㄨ5	大阪府	相談役	覚道幸兵衛	ㄨ3	大阪府
	川田雄祥	ㄨ6	徳島県	ㄨ	阿部勉	ㄨ5	兵庫県
	村瀬進	ㄨ7	兵庫県	ㄨ	藤井東次郎	ㄨ11	京都府
	鈴木實	ㄨ8	京都府	ㄨ	筆本新一	ㄨ15	大阪府
	白神進	ㄨ8	徳島県	ㄨ	芦田佐仁	ㄨ15	滋賀県
	長谷川博久	ㄨ9	京都府	ㄨ	加藤信一	ㄨ18	大阪府
	高松平人	ㄨ11	大阪府	ㄨ	愛敬弘成	ㄨ21	関東
	尾上徹	ㄨ12	京都府	ㄨ	筒井正弘	ㄨ22	奈良県
監事				ㄨ	松本清	ㄨ24	兵庫県
監事	津島大麗	専20	兵庫県	ㄨ	織田正豊	ㄨ29	京都府
ㄨ	河上泰男	ㄨ24	京都府				

当面する諸問題について協議

第1回大歯大兵庫県同窓会クラス幹事会

63年2月13日(土)

第1回大歯大兵庫県同窓会クラス幹事会は、昭和63年2月13日(土)12時30分より兵歯会館5階ホールで開催され今後の運営と共に当面する諸問題について協議した。

クラス幹事会は、志築専務の司会により塩見副会長が「歯科界多難の時であり大歯同窓会として執行部より種々の問題を報告したい」と開会のことばを述べた後、村井会長より要旨以下の挨拶があった。

【村井会長挨拶要旨】

大歯同窓会2世代、3世代にも亘るようになり、従来の分会、支部の横の組織だけでなしに、縦の組織も必要ではないかと思ひクラス幹事会を作り有意義なご意見を聞きたいと思っている。

また兵歯会長選挙には無投票で当選させていただいてご協力を感じている。

1年間に約100名の方が兵庫県の歯科医師会に入会されるが、大歯の卒業生が1名もない月もあり、非常に出身校が多様化している。

大歯が県で52%のシェアを持っていると同時に大きな責任を負っているわけであって、他校出身の方も大きな期待を持っておられる。私は公正で力強い歯科医師会の運営を考えている。

この後、議長に伊藤副会長を選出、報告に入った。

【報告】

会務報告 志築専務

- 62年2月14日 クラス幹事会
- 6月28日 総会
- 8月1日 33回会員大会
- 12月11日 役員会、村井会長を兵歯会長に推薦した。

63年2月13日 学術講演会
今後のスケジュール

63年2月20日 役員会

4月16日 役員会、総会

10月15日 会員大会 ニューオリエンタルホテル

本部関係

11月13日(土)全国会員大会京都都ホテル城西歯科大学が学部を増設して明海大学と改称する。初代総長に多和教授が就任される。

当面する諸問題について 中塚常任理事

歯科診療報酬改正見送り問題について日歯の姿勢を追求する経過の中で近北地区役員連絡協議会の推薦をうけて村井会長が日歯副会長に立候補されることとなった、ご協力願いたい。

【協議】

1) 今後の運営について

志築専務より以下の説明があった。

- 会員大会と総会同時開催という意見があったが、性格の異なる会のため別々に開催したい。
- 学術講演会については一般教養をも含めて幅広いものにして行きたい。
- クラス幹事にお渡しした事務連絡費は電話代その他にお使いいただきたい。
- 会報にクラス会の動向を掲載したい、追って投稿依頼のお願いをするので投稿お願いしたい。

つづいてクラス幹事側から、会員に不幸があった場合、県の方から連絡を十分にしてほしい。その連絡方法も研究してほしいなどの要望が出された。

つづいて村井会長より「皆様の協力を持って1位当選を目ざしたい」と立候補の挨拶があった後、西田副会長の閉会のことばで終了した。

盛況の学術講演会

「無 菌 顎 の 臨 床」

講師 元東京歯科大学教授 河 邊 清 治 先生

63年2月13日 (土)

クラス幹事会終了後、学術講演会が開催された。今年度の学術講演会は元東京歯科大学教授、河邊清治先生をお招きして「無菌顎の臨床」と題する講演であったが、無菌顎の臨床に関しては第一人者の先生の講演でもあり、参加者も多く有意義な講演会であった。



<講演する河邊先生>



<2階席まで満員の盛況>



クラス幹事 だより

専5回

新緑の季節になりました、毎度お世話になってます。5回生の幹事を申し付けられました。が、病のため幹事会にも出席出来ませぬ誠に申し訳なく想っています。5回生会のことは万事阿部勉君が代表者となりお世話してくれていますのでお願いしています次第です。

兵庫県下の5回生も、阿部君と2人だけになり、誠に寂しい限りです。病身ですので何のお役にもなれず宜敷くお願いします。草々

(橋本 六也)

専14回

昭和9年卒業、世はまさに物騒な前ぶれに近かった。県下には十余名の同級生がおりましたが、戦争ぼっ発と同時に、召集を受けるものが続出し、結果的には戦死、戦病死有り、また、その後病気などにより死亡者があって、現在では僅かに4名になってしまいました。即ち多和敏一、右近示、保井巖、小生の4名です。多和君はますます元気で、目下、城西歯科大学の学長として頑張っており、年1回の同級会の総会には必ず出席いたします。右近君は仲々の政治家で、神戸市議会議員を九期(36年間)つとめ議長にまでなったベテランです。保井君は近年体調を崩し、廃業の状態です。小生は高血圧に悩まされながらもボツボツと診療を続けておる状態です。

以上のようなわけで、全く「明治は遠くなり」にけり」の感を一層深くする次第です。

(鈴木 要輔)

専15回

クラスメートのみなさんお元気ですか。いつの日からかお互いの健康を確認し励まし合うために年一度の忘年会をお世話して来ましたが、15回生会の世話を一生懸命にやってくれていた谷君がなくなりましたので、昨年は忘年会を開かずすましてしまいました。われわれもやつのことで平均寿命に近づいて来たような有様ですが、これからは余生と言うものです。お互いに健康に留意して、有意義な人生の今までに成し得なかった数々のことを思う存分やりながら余生を楽しみ合おうではありませんか。今年是非また忘年会を開き、元気なみなさんの顔を見るのを楽しみにしています、必ずご参集下さるようお願い申し上げます。終わりにお願いですが、歯界月報を見て病気の先生の近況を知るようなこともありますので、何かにつけて連絡事項でもあれば小生または、近隣の同窓生宛に連絡下さるよう。ではまた逢う日まで。

(井上 貴)

専17回

会員相互の親睦と情報交換は大切なことと申します。昨今、盛んに言われるのが「ヨコ」の関係「タテ」の社会と、視野を広げると言うことは緊急のことです。同窓会としては特に大切と痛感致します。

光陰矢の如し、私達は昭和12年に学窓を巣立ち早や半世紀を過ぎました。昨年は卒後50周年に当たり、われわれ17回の旅行を施行し大変楽しい行事となりました。

- 1、記念祭（物故者に黙祷）
- 2、記念旅行（草津軽井沢、伊香保）
- 3、記念アルバム発行
- 4、寄せ書及び思い出の肉筆、スケッチ

以上、多くの行事をなし遂げ得たのは皆様方の献身的な努力は、勿論、多数の家族の参加の賜と思います。今年は本州と四国を結ぶ瀬戸大橋が開通することでもあり、見学旅行を企画されています。クラス会の活動状況の一端を報告します。

お互いに今後健康に留意の上余生を送り度いと思います。

昭和63年 5月20日

（木村 三夫）

専18回 魂に鞭を刻むな!!

母校を巣立ってから半世紀を迎える。大歯専18回生は「よくやる人が揃っているね」と折にふれ年輩の方々から言われる。このように褒められると正直な処、本当に嬉しく誇りを感じると共に感謝感激の極みである。

そういわれてみると、これ迄に栄ある叙位叙勲者、各褒章受章者や大臣表彰など頂いた友が多い。私達同期生は第一線で日夜、充実した診療に当たりながら、医政面でも大いに活躍した人達ばかりだともいえそうだ。厳しい現代の歯科界にあって、各方面からその活躍が求められ期待されて、既に全国的にもその名を知られている日歯常務の大浦波夫君始め、県下地方会で多年、歯科医師会会長や県歯会の要職を兼ね、多大の業績を残し、母校の名誉を高めたわがクラスメートは、今こそ僅か県下で11名になったが、その光明の大半を占めているといえよう。

年齢に老いはなく、理想と信念と情熱は常に若さを与えてくれるというのが、みな苛烈だった戦争を体験し、戦後焦土化した中での困苦に耐え、意欲に満ちて苦闘を続け、今日を築いて来ただけに、それぞれしっかりした人生観と共に、与えられた仕事への使命感と情熱に燃えていて、何時も明るく爽やかである。

竹谷三省君（津名郡）。溝井三代次君（芦屋市）。湊信一（明石市）などが、今も現役の地

方会長職を務め、自治体名分野でも、公職多忙な活躍を続けている。互いに「思いやり」「いたわり合う」笑い話が何よりの心の支えである。
（湊 信一）

専19回

専19回生卒業生総数 132 名中現在63名で、うち兵庫県同窓会の会員は14名です。

クラス会としては年1回一泊の総会を兼ねた懇親会で親睦を行っております。年々出席者が減ります。何か対策を考えており、また64年は卒業50周年に当たり今年のクラス会でいろいろ相談致したいと思います。
（谷上）

専21回 天作会報告

大阪歯科医学専門学校第21回卒は、愛称を天作と申します。昭和16年卒業時は150名でしたが、現在は、93名で、年1回の総会には、平均40名くらい集まっています。

顧みますれば、昭和23年、戦後の混乱期に、大阪在住の、数名の諸君が足で同窓生を掻き集めて、高野山の寺院でクラス会を開催して以来皆の情報を纏めて名簿を作成し、これに基づいて連絡して、生駒山の阪大元教授の別荘をお借りして開催したのを始め、宇治の亀石楼、神戸布引の観光ホテル、瀬田の網定旅館とそれぞれ地元当番幹事の手話で動き始めて以来、全国を廻りあるくことになりました。この他5年目毎に本部幹事が世話をすることにして、同窓生のいない場所へも赴いています。今年で既に40年、同窓生のいる所は殆んど参りました。今年は福岡県の樋口俊治君の手話で、10月22日博多で開催することになっています。またゴルフ同好会は、岡本治郎君の手話で毎年総会の前日に行っていますが、15年程前に今は亡き北海道の米山君が体を悪くして出席出来なくなる日が近付いた旨を聞いた兵庫県の稲垣君は、『せめてゴルフの会だけでも総会とは別に年に2回集まろうではないか、そうすれば米山君と顔を合わせる回数も2倍になるではないか』との提案で有馬へ一同を集めたのがきっかけで、ゴルフ組

は年に2回開催しています。毎回20名くらい集まっています。

昭和33年に岡山県児島の故難波大二君が世話をしてくれた時、鷲羽山の見晴台から50余の鳥々の名々の名前を説明してくれたり、下津井節を踊るため、何か月も前からお師匠さんについて習い、当日、皆の前で披露してくれました。この時は、今の瀬戸大橋が懸るなどとは想像もしていなかったものです。

また、天作会は同期卒業生の他、一度でも席を同じくした人にも案内状を差し上げています。これを入れると毎年連絡は98人か99人になります。

どのクラス会も同様と思いますが、年々数が減って行くことは誠に淋しいことです。増えることのないこの会では仕方のないことですが、お互いに健康に気をつけて、いつまでも学生時代の楽しい思い出話を語り合いたいものです。終わりに臨み会員の分布状態を見ますと次の通りです。

兵庫、大阪	各19名
四国	11名
京都	9名
奈良	5名
和歌山、石川	各4名
愛知、広島	各3名
島根、三重、九州、東京	各2名
鳥取、新潟、岐阜、山口、富山	各1名
静岡、北海道、台湾	各1名
合計	93名です。

専22回

昭和16年12月卒業以来、早や46星霜。過ぎし日々も各人各様であったと思います。青春の志を同じくする者達が牧陵の学舎で勉学に勤しんで卒業しながら戦争犠牲者となった諸君。また幸に生を得て地域医師医療に精励（途中不帰の人となった諸君を思う時、感慨無量なものがあります。専22回の筒井教授も今年の3月で67歳定年退職、その記念祝賀会には500人近くにも達する参会者のご協賛を得られたことは、私達

同期の者として感謝に耐えない次第です。また大阪の奥野喜一君は長年大阪府歯科医師会会長をつとめ、また今年からは大阪歯科大学同窓会長に就任、今後の活躍が大いに期待されます。彼の益々の健勝を祈る次第です。前日本歯科医師会の専務理事・大分県前会長の毛利彊君は残念ながら退陣となりましたが、長期にわたる会務大変ご苦労様でした。またの活躍を期待しております。兵庫県の同期は木南文雄、椿正美、益田憲二、松崎豊、片山敬三、佐久間恒男、和田茂之で他学年からみると少数です。年1回の清澄会（専22回）の旅行を兼ねての総会には挙って参加し、親睦の実を挙げております。こんな時、同期の面倒をよくみてくれる大阪の川口秀夫君。本部クラス会代表の橋高君などと旧交を暖め一夜語り明かすのが楽しみです。2世もそれぞれ中堅になり、同窓の諸氏にお世話になるような年齢に達しました。つくづく時の流れの早さを感じます。

こんなわれわれですが、年齢を超越して相互の融和親睦を図り、同窓会の活性化と発展に協力を惜しまない覚悟です。（和田 茂之）



5月21日（土）於：三つ輪

専23回

兵庫県在の専23回生は、現在12名。

目下、全国23回生同期会（ふみ会）の当番幹事役も兵庫県が担当し、姫路の花岡友三君を幹事長に西川滋弘、伊藤俊造両君がそれぞれ庶務・会計を受け持って、緊密な態勢でクラス会の計画を進めている。

本年度は9月17日岡山に集合し、高松「渭水苑」においてクラス総会の予定で、往復に瀬戸大橋の景観を楽しもうと会員の多数参加を呼びかけているところで、参加申し込みも好調である。

5月21日(土)神戸駅前「三つ輪」に、23回生集合。(達谷・上村・花岡・西川・伊藤・八竹)

上記クラス会の準備の現況を確認し、総会運営の打ち合わせを行うと共に、同時にまた、兵庫県同窓会会員大会(10月15日)及び大歯全国会員大会(11月13日・京都)の参加も督励することを約した。(八竹 良清)

専24回 兵庫県にしき会

今回から同窓会報にクラス便りが掲載されることになり、各クラスの動向がわかり期待しています。

私達、専24期生は現在16名で、1年1回集まっているいろいろ情報の交換や、旧交を暖めあっています。51年から年会費(現在1万円)を集めブールし、ささやかながら慶弔費に充てています。

ご存知のように昨年暮、前県歯副会長の塩見洋三君が、永年にわたる口腔衛生の発展向上をはじめ、地域医療の確保充実、社会保険医療制度の拡充発展に、寄与された功績により藍綬褒章を受章されました。

一昨年同じく、前県歯副会長の松本清君が受章されましたが、同期生の一員として非常に誇りに思っております。このことは、両君の人徳による処大なるものがありますが、歴代会長始め、同窓各位のご支援の賜ものと存じます。また、60年夏の日航機事故の犠牲となられた河原道夫君に対して、各位から寄せられた甚大なるご厚情にも、県在住専24期生を代表し、この紙面をかりて厚くお礼申し上げます。

今後とも、この欄を通して、同窓会の縦糸横糸がかたく結ばれ、ますますの発展を念願するものであります。(代表 遠藤 哲雄記)

専26回

県内在籍の専門26回生は現在15名である。一と昔前までは20名を越えていたことを思えばやはり淋しい思いである。さてその15名を紹介しておきます。(敬称略五十音順)伊藤正夫(西宮)足立維(氷上)上住和平(芦屋)浦上好雄(姫路)嘉の海新三(姫路)河合範夫(神戸)木村栄一(神戸)滝野俊一(南丹)滝口宗雄(姫路)田村正(神戸)中沢利介(神戸)七浦保次(尼崎)原要次(社町)三木高史(神戸)宮井鐘三朗(神戸)である。面倒でもフルネームにしないとそれぞれ(1名を除く)後継者に恵まれしかも幸なことに全員母校出身の後輩という関係上姓名を名乗らぬとまぎらわしいわけである。われわれはもう全員孫の一人や二人は持つ自分であり、子息(或いは子女)と一緒に診療している者、病院勤務や別に開業している親子と様々である。世間並みには定年直後という年代ではあるが、皆元気で診療は勿論何かと幅広い社会活動も活発である。15名それぞれの地域活動、業界関係活動の紹介は稿を改めて紹介の機会もあろうかと思う。われわれは毎年1回は原則として神戸に集まり会食しながら歯科界のこと、診療のこと、保険のこと、或いは遊びのことと毎度賑やかなことで、帰りの時間を気にしながらも友情の絆を深めている時には、「カニ」のシーズンには地元の顔で足立、滝野両君の世話で一泊の冬の味覚フルコースを楽しむこともある。皆何かと忙しく全員揃うのはむづかしいけれど、生臭い話を抜きにして次代の発展に期待と協力のため頭と身体を健康を保って毎年顔を合わせようと願っている。(田村記)

専27回 牧陵会

われわれ専27回は、昭和22年3月に戦中・戦後の最悪の社会情勢下で学業を終え、卒業と同時に第1回の国家試験を経て、早や41年が過ぎました。牧陵会は、本部を母校の稗田教授の教室に置き、その中でも「神戸人会」をつくって活動しています。

皆、還暦も過ぎ、いよいよ老年期に入る年代になりましたが、現在、級友19名で、洲本市会長の高津君を筆頭に、各々の支部で要職について活躍しており、また、毎年、春秋に2回、神戸を中心とした集まりをもっています。

皆が集まれば、学生時代の苦しかったこと、楽しかったこと、或いは、子弟が立派に成長した話、孫の世話のことから、年金や自分の弱った身体のこと、級友の近況などまで、話題はつきません。

今、級友たちは皆地域医療の第一線に起こって働き、更に、学術研修会などにも数多くの級友の顔が見られ、老いて益々、新しい技術の問題点に取り組みつつ、経験を生かして今後の医療に励みたいと考えています。（西原記）

専28回

昭和23年に学校を卒業してから早くも40年が経過しました。若干の物故者もありますが、大半が元気で活躍しています。会の名称も専門28回に因んで二八会と名付けて毎年、京阪神を中心に北海道、北陸、中国、四国にも足をのばして総会をもっています。現在、兵庫県では19名の同級生がおります。兵庫県の在住の会員も自分で年に一回程度の会合をもって親睦を計っております。この1、2年は各自多忙のためか、ご無沙汰しております。近い将来、是非会合をもって近況などを話し合いたいと楽しみにしております。また、早急に連絡網を整備したいと思っています。その折は宜敷くお願いします。簡単に二八会の紹介と将来の予定を報告させていただきます。

専29回

齢 まさに60歳、大歯専29回生の殆んどの諸氏が、今日還暦を迎え、また迎人としてしていることと思う。あの牧野の学舎で青春を語り、球を蹴ったあの日々は、つい10年程も昔であったような気がするが、昭和24年春、終戦の残影をひきずりながら卒業してから、来年は早や40周年を迎える。大歯専29回兵歯同窓会員は36名の多きを数えるが、去る年兵歯本会専務であった前

田君を日航事故で亡い、前後して松田、上仲両氏を亡ったが、他は会員意気軒昂兵歯本会には伊藤、善本、赤井の諸氏を送り他は毎日の診療に地域医療のために頑張っている。敗戦の焼跡から今日の経済大国と言われるこの日本の国をこれまでにしたのは、先輩諸氏とわれわれの世代であるとの自負と誇りのもとに、今日まで仕事に明け仕事に暮れる日々を歩んで来たが、息子は一人前になり、娘は嫁ぎ、孫の一人や二人はあるわれわれにとって、残された人生を如何に充実した悔のない日々として過ごすかは、還暦を迎えたわれわれのもう一度考えるべき時期ではないだろうか。

この6月4日には全国大歯専29回同窓会が和歌山で、また来年は卒業40周年記念大会が大阪で開かれる。毎年一度は神戸に集まっているわれわれも、この全国大会に是非多数参加され昔を偲い今後を語ろうではないか。

大阪歯科大学兵庫県同窓会の今後の益々の発展と、大歯専29回兵歯同窓会諸氏の健康と活躍を祈ります。（吉竹記）

専30回 兵庫県みとわ会総会開く

4月30日（土）午後5時から神戸市内「神仙閣」で、本年度第1回の「みとわ会総会」を開きました。

この度は、兵庫県歯科医師会の第2次村井執行部発足に当たって、兵歯各会に多くの同期生が登用され、また、地方会にも会長に就かれた方がおられますので、祝賀を兼ねて一層の親睦と結束を固めるために開催いたしました。

しかし、兵歯各会の役員の方々のスケジュールなどがあって、それに合わせて適当な日がとれず、連休前半の30日という無理な日程になってしまいましたので、出席された方々は11人でした。

今回は、ゆとりをもってご案内をさしあげますので、多数、ご出席下さるようお願いをいたします。

当日の出席者は、つぎの方々でした。

中森康二、小川靖彦、関川 健、南木秀夫、保井謙至、龍田早苗、佐竹茂康、三木幸雄、廣瀬武志、原田興太郎、高橋辰夫（順不同）
（南木）

専31回 みそひと会報告

兵庫県支部総会と活動状況

昭和61年度、みそひと会、兵庫県支部の総会は、昭和62年4月4日（土）午後4時30分より、神戸市中央区すし（鳴門）において12名の出席の上、庶務藤井の司会により行われた。

宮坂支部長より「前菊地支部長の後、支部長を引き継いでから初めての総会であり、宜しく願います」と挨拶があり、会計・庶務の報告のあと議事に移り、昭和61年度歳入、歳出、決算と年会費2千円見舞プール金、5千円を徴収することを可決承認し、小坂君の閉会のことにより総会を終了した。

懇親会は、大歯兵庫県同窓会、志築専務理事を来賓として、小坂君の挨拶により始められ、志築専務理事より、本部兵庫県同窓会並びに兵庫県歯の現況の説明があり、生内君の乾杯の音頭によって懇親会が始められ、戸田君の閉会のことにより和気藹々の内に終了した。

なお、増田君より今後の歯科診療の有り方について説明があり、特に顎関節症の扱いについての重要性が述べられ、みそひと会員のために研修会を行ってもよいと申し出があり早々に日時を検討することに決めた。

活動状況

昭和62年

9/13 田尻 滋氏

兵庫県インプラント研究会講師として来県
（小坂、宮坂、藤井出席）

9/20 増田 勝美氏

出版記念講演会（ニューポートホテル）（宮坂、藤井出席）

10/10 みそひと会全国総会 大阪北浜

於 花外楼

（小坂、増田、田村、生内佐藤、宮坂、藤井、出席）

12/12 京阪神みそひと会親睦ゴルフ大会

於 宝塚ゴルフ場

昭和63年

3/24 小坂 修君

兵庫県公衆衛生功労表彰、その他、総会のための小会議を3回招集。

4/16 みそひと会ゴルフ

於 宝塚ゴルフ場

大住、東、生内、安野、梅本

訃 報

昭和62年11月24日 木村敏郎君葬儀

田村君 代表出席

慎しんで御冥福を御祈り致します。

（藤井 昭 記）

大 4 回

大4回「一新会」は昭和25年の入学で当時、前後期と2回の入試があり、しかも入学金なしという恵まれた時期の入学にもかかわらず、100名の卒業という大1回に次いで少人数のクラスです。しかし、実数は100名以上で一日でも机を並べた人は会員となっています。

大4回で「一新会」とは、新制大学一回の卒業から名付けられたものです。

クラスには各、性格があるようですが、地味でおとなしいクラスです。

卒後32年目を迎えました。毎年のクラス会では京阪神を中心に地方廻りを重ね、出席率も70%前後と最近ではぼつぼつ子供の教育も終わり、夫婦での出席も数多くなって来ました。

子供の大歯在学学生を中心にして二世会もあり、親子共々出席して新入生コンパ、卒業コンパと和やかな会をもっておりますが、いつも子供の数より親の出席者の方が多く、親が子供を見上げて悦に入っているようです。しかし、最近では入学者のピークも過ぎ幹事は悩んでいます。

どのクラスも同じでしょうが、いつまで経っても学生時代と変わらず、和やかな雰囲気です。一人でも欠けることなく、年一回のクラス会での再会を楽しみにしている一新会です。



大5回

卒後30周年記念総会盛會裡に終わる

昨年6月14日、第5回兵庫県歯科医学大会終了後に神戸花隈「鈴江」に於て、県内の同窓会員全員27名ご出席のもと、兵歯会長、大歯兵庫県同窓会会長、村井俊郎先生並びに兵歯常務理事、大歯兵庫県同窓会専務、志築照和先生の同席をえて卒後30周年記念総会の懇親会を盛大に終了することができました。

なお、懇親会終了後、会員の皆様にご記念品として小学館刊の「家庭医学大事典—Home Medica」を送らせていただきました。といいますが、昨年の大学卒業回数別分類における卒業生、死亡数が第五会は、ワースト1と記録しております。幸い兵庫県内は1名の事故もなく幸いに思っております。ただこの2～3年来に傷病見舞金の給付を受ける会員が2～3名見受けられるのにつけて、家庭医学書としてご家族の皆様方にもご愛用いただける書物として選択いたしました。愛読活用の程を希望いたします。

今回「卒後30年としての感想を」とのことでしたが、私自身には四つの時代があると感じております。

☆「第一の時代」は卒業から30代、これはあくまでも治療技術を中心に医療全般にわたり、臨床の基礎的研修が必要な時代で自己のパターン形成の期間で医療行為の理想を養うよう努力する大切な期間。

☆「第二の時代」は40代で自己の特質を考えた意志の決定に基づいて、他の医院と異なった経営方針や治療方針やその技術を本格的に開発すべき期間。

☆「第三の時代」は50代では円熟した歯科医療を推進し、歯科医業の後期の仕上げの研鑽にかかる。残る20数年の経営方針を考察しながら歩む期間。

☆「第四の時代」（将来としては）は60代以後では技術そのものの会得することよりも、技術や社会的ニーズの時代的趨勢を熟知し、高次元の立場から後進の姿を理解する期間。

というように臨床医の理想像を追求していくに

は、開業経験の年数によって理解も異なってくると思います。出来るものなら「年代別」の卒後研修も必要となってくると考えます。

最後となりましたが、本年度、大五会兵庫県支部総会は第6回兵庫県歯科医学大会開催終了後に、下記のごとく開催致します。

昨年同様、多数の同窓会員のご出席を期待いたします。

—第五会兵庫県支部総会のお知らせ—

○日時 昭和63年6月26日（日曜日）

午後5時30分開会

○場所 神戸花隈本館「鈴江」に於て

（支部長 長谷川 啓）



62年10月31日三田市ゆとうや

大7回 兵庫七夕会 三田で松茸狩り

大阪歯科大学兵庫県同窓会には、24名の大学7回卒の会員が在籍する。この24名で兵庫七夕会を結成しており、県の同窓会をはじめ、同期会の全国組織である七夕会などへの協力態勢を布いている。

当然のことながら兵庫七夕会では、毎年、懇親会を開いている。いつも神戸で行っていた例会だけれど、昨年は三田市相野の『ゆとうや』で松茸狩りを楽しんだ。世話役は地元の豊後護君。昭和62年10月31日（土）、それぞれの予定が地方会や県歯の行事などと重なっていたこともあって、もうマッタケも終期に近いこの日が選ばれた。集まったのは、石原、岩城、尾上、嘉ノ海、香山、木許、下井田、杉本、西海、英、豊後、三坂、宮田、森鼻の14名。半数以上が参加した。

午後3時、ほぼ全員が揃ったところで、裏山のアカマツ林へ繰り出した。ゆとうやの案内人に導かれてマツタケを採る。よく噂されるような外国産のものを植えているのではない、正真正銘の三田のマツタケ、野生のマツタケに興奮する。カムフラージュしてあった枯れ葉を取り払うと、今日の、私たちのために採り残しておいた、ひときわ大きなヤツが姿を現した。図らずも周りから歓声があがる。30分余りで、籠一杯のマツタケが収穫された。

記念撮影のあと、宴会場へ。いま採ったばかりのマツタケと、大皿に盛られた三田肉が並べられている。クラス幹事の下井田久仁夫君とこの日の幹事である豊後護君から一言、ふたこと、挨拶がある。仲間同志の気楽な言葉、長くないのが素晴らしい。早速、スキ鍋を囲んで宴会が始まった。米どころ三田の地酒が、その味をひき立ててくれる。つい5カ月前、神戸・オリエンタルホテルで全国七夕会を済ましたばかりなのに、クラスメイトとの間には話が弾んで、陽がかげるのも気づかない。山あいに晩秋の冷気がしのびよる頃、散会となった。

豊後君の労苦に感謝する一同の手にはお土産のマツタケと栗、それに三田肉。そのうえ楽しかった思い出に、心地よい酔いを添えて家路へと急いだ。



このあと、兵庫七夕会では2月13日に行われた兵庫県同窓会主催の学術講演会の折りにも、『神仙閣』に12名が集まって夕食を共にした。今年になって初めて顔を合わせたので遅まきながらの新年会という処。残念ながら所用のために講演だけで帰った者が1人、出席率は高いと思う。

乾杯！ やがて秋の松茸狩りのこと、5月に岡山で開催される全国七夕会のこと、その時にはもう開通している瀬戸大橋のこと、ゴルフのこと、魚釣りのこと……話に花が咲いた。そうした中で、「今年の秋には、ポタン鍋で兵庫七夕会をやるうや。生野に泊まれるよう、手配をするから」と、上田晴敏君が言う。また、楽しみが一つ増えた。

なお、卒後30年近くになると、歯科医師会の中の重要なポストに就くようになる。兵庫七夕会でも歯界月報などでご承知の通り、今年の役員改選で、兵庫県歯科医師会常務理事に村瀬進君、兵庫歯科学院専門学校常務理事に三坂明美君、長田区歯科医師会会長に西海啓之君、小野市・加東郡歯科医師会会長に福岡優君、南但歯科医師会会長に上田晴敏君の5名が就任した。

兵庫七夕会の皆さんには、改めてここでご報告しお慶びいたします。

大10回

ひとわ会兵庫県支部は、毎年2回程、懇親会を開いておりますが、昨年は、11月7日、8日と西宮の井出君のお世話で、貴和荘で久しぶりに懇親会を開きました。皆様お忙しい中を20名集まり、貴和荘各物生づくりを賞味し、夜遅くまで談じ合い楽しいひとときを過ごしました。今年から西宮に寺沢洋介君が入会され、会計を寺沢君にお願いすることになりました。次の日は、赤穂国際カントリーでゴルフを楽しみ、有意義に過ごしました。

今年は7月に京都ひとわ会が、毎年加茂川の床で懇親会を開いているとのことで、兵庫県も合同で川風に吹かれての懇親会を企画いたしております。全国ひとわ会としましては、全国のひとわ会の同窓の皆様と連絡を密にするという意味で、今回機関紙「ひとわ会北から南から」を発行致しました。最初から森学長、小森先生初め同窓生の原稿を頂き、全部で14ページにもなり編集者一同喜んでおります。また今年は、11月12日の大歯同窓会の京都での全国大会に合わせて、ひとわ会もその前日の11月12日に京都丸山公園料亭「左阿彌」で同窓会を開きます。京都ひとわ会の諸君に素晴らしい企画をねっていただいておりますが、ぜひとも万障お繰り合わせの上、ご出席よろしくお願ひ致します。

(加納 晴彦)

大11回

梅雨空の合い間をぬってさす光は、夏の香りを運んでまいります。兵庫の士会の皆様お元気で歯科医療に、社会にご活躍のことと存じます。

士会も20周年を大阪で開催されてから早や5年もたちました。今年は久しぶりに大歯大同窓会全国大会に合わせて京都で士会25周年記念大会が行われます。予定は次の通りになっています。

日時：昭和63年11月12日（土）

物故会員に対する追善供養：午後2時30分～3時30分

総会：午後5時～5時30分

懇親会：午後6時～8時

場所：同級生物故者供養：南禅寺内清涼殿

総会：京都都ホテル

会費：¥25,000

以上のようになっています。準備は京都市会が中心になって進められております。大変久しぶりのことですので多数参加されると思いますが、一人でも多くご参加下さい。なお、大11回卒業のクラス会は、大士会、京士会、敬士会などがありますが、兵庫県には大11回生のクラス会がありません、機会があれば兵士会（？）でも作ってみてはいかがでしょうか。

（大野 正迪）

大12回 十二支会兵庫県支部

十二支会兵庫県支部は、大阪歯科大学12回生として入学した兵庫県歯科医師会会員と、同じく兵庫県に在住し他府県にて開業または勤務している同窓の入会希望者で構成されている。

年1回の定例総会と例会を随時開催し、会合毎に、会員の中から、あるいは外部の講師を招聘し講演会を行っている。

講演内容は歯学、医学の専門分野から、一般教養に至るまで、肩のこらないテーマを選び有意義なひとときを過ごすべく努力している。

ちなみに最近のテーマを紹介すると、専門分野では「最近の口腔解剖学から」と題し、会員

の大阪歯科大学口腔解剖学教室の崎山君を講師に迎え、歯学の基礎を、より専門的なアプローチを行った。また、一般教養として、同じく会員の小笠原流煎茶五代家元、小笠原秀道氏（花田博明君）、を講師に迎え、「お茶の世界」と題して、お茶の歴史に煎茶道の入門の興味深い、スピーチを拝聴した。また、同家元の高弟の一人に同じく会員の中塚史郎（小笠原秀史教授）がおり、彼も同流の、数少ない地位の高い教授の一人である。

このように、卒業以来24年を数える12回生だが、それぞれの人生で、まだまだ前向きに何にでもチャレンジして行こうとする集団である。

（文責：大頭 孝三）

大13回 兵庫登美栄会

登美栄会とは13をトミと読みかえたもので、故福地芳則教授の命名である。卒後間なしに発足したクラス会は、残念ながら2名の友人を失い、現在30名の会員を要する組織になっている。対内的にも対外的にも非常によく纏まったクラス会であると自負できると思う。クラス会の年間スケジュールは4月に学術講演会、7～8月には一泊の旅行、10月には定時総会と決まっている。これが20年以上も続いており、5～7割の会員がそれぞれの行事に参加している。学術講演会はクラスメイトの教授、助教授にお願いし膝をつきあわせて討論し、日常の臨床に役立つことを学んでいる。6年間の学生生活を共に送った友達はいつまでも同じ仲間であり、年1回の旅行はその昔を偲ばせてくれる。そして、より一層の団結を強めるためにもこの会に不可欠の行事の一つになっている。秋の総会は多くの会員の出席を得て1年間をふり返り、次なる年度に備える会でもある。これにはほとんどの会員が参加する。村井会長になってから、同窓会の組織は今までは各地区が単位になって構成されていたが、これにクラス別の単位が加わった。今後これをどういう風に運営していくのかは定かでないが、今までの各地区輪番制の会員大会なども学年別のクラス会に企画させて

みるのも一案であって、また、変わった味の大会になって面白いと思う。(山口 省三)

大14回

われわれ第14回卒業生は、現在24名の同窓を兵庫県内にもち、昭和52年にこの兵庫県支部を「タナバタ会」と称して結束を固めた。現在、全国第14回同窓会の兵庫県支部「兵庫寿歯会」として支部活動を計っています。

ここ5年の活動についてご報告致します。

◎昭和59年9月15日～16日に、14回生同窓会全国大会を兵庫支部の当番で全員が一団となり幹事、世話役として盛大に有馬温泉、古泉閣において開催、全国から同窓生100余名が出席、温泉の湯につかり、ユカタ姿で大宴会を開き、さらにゴルフあり、観光ありと、一泊の楽しい親睦会を開き大成功をおさめた。

◎昭和59年2月25日にはホテル神戸にて、支部の総会を開き、全国寿歯会代表の大西洋二君、さらに大阪から松谷、高木の両君、和歌山から海堀君、そして奈良から中島利行君らが来賓として出席、神戸肉を舌づさみながら情報交換、今後の支部活動などを検討なごやかな一時を過ごした。

◎60年11月10日、花隅の料亭「いけす」で小宴を開き具体的に「タナバタ会」運営について、意見を出し合い親睦を深めた。

◎本年1月には北但の奥藤君のお世話で城崎にて一泊の家族大会を催し、日本海の雪をみながらカニを賞味し、久方振りにゆっくりとくつろぎ交友を深めた。

この「タナバタ会」は神戸在住の兵庫支部会員の先生方の積極的なお世話で現在まで活躍を続けております。

ごく最近の話題としては、長い間、母校の理工学講座に研究勤務されていた石崎先生がこの3月末日で退職されたことです。(本庄)

大21回

大学を卒業したのが、昭和48年でしたから今年で丁度15周年ということになります。その間、様々な社会情勢の変化、環境に対応し、生活もようやく公私共に確立してきつつある昨今ではないでしょうか。歯科医師として、より先生らしく、責任の大きさを新めて実感し、不惑の齢に達しようとしているところだと思いません。

本年は隔年毎に行われているクラス同窓会の開催年で、今回は、八戸君のお世話で、8月の20日(土)、21日(日)の両日、北海道・札幌市で行われる予定です。丁度、子供達にとっては夏休みのことで、家族旅行を兼ねて参加していただければ幸いです。詳細は、後日担当幹事の先生から連絡致しますので宜しくとのことでした。旧交を暖める良い機会です。またクラス同窓会は大学同窓会の基台となるものですから多数の参加が、大学全体の発展につながり、社会に対しても、各個人に対しても有意義なものになるものと思います。また、相互の融和親睦の手段として、大いに活用してこそ、その存在価値も有効なものとして発揮されるでしょう。あまり固苦しく考えないで、『気楽に、気長に、気安く』やってゆけば、いいのではないのでしょうか。気持ちの許し合える者同志の唯一の集まり、それが同窓会(クラス会)だと思います。純粋な仲間意識にも、ふと気付くかもしれません。そして、地域社会における自分の立場を自覚させられ、社会的責任の重さを知らしめられるでしょう。閑話休題、健康第一、感謝の気持ちを忘れないで、お互い頑張ってください。(入船 忠史)

大23回 慈山会

クラス単位での活動としては、現在のところ電話連絡網により会員及び家族の慶弔の連絡をしています。また、会員間の親睦、研修としては、人数及び地域性の関係上クラス単位ではなく、各個人で年に一、二度5名～10名単位でゴルフに一泊旅行に、大学に席のある同級生の先

生方による最新歯科情報等の勉強会などを開催しています。

クラス幹事会報告

昨年12月に慈山会クラス幹事会が大阪プラザホテルにて開催されました。

協議事項

- ① 来年5月13、14日の両日に金沢で開催される同窓会について
- ② 会費徴収について
- ③ 電話連絡網の整備について
(特に未開業の先生方について)
- ④ 住所録の作成について
- ⑤ 各幹事の役割り分担について
- ⑥ 準会員について

(杉本 啓一)

大24回

4月23日、24日の両日広島におきまして、大24回錦会の同窓会総会が盛大に行われました。

今年前半の兵庫県支部の同窓会は中止になりましたので、秋に行く予定の同窓会へ多数のご出席をお願い致します。更に電話連絡網を再確認するために再度郵送致します。(馬場 悟)

大26回

わが26回卒同窓会といたしまして、現在ご報告申し上げるような目立った活動は行っておりませんが、全国レベルにおいては、大阪、京都、奈良、和歌山、各県主催で総会及びゴルフコンペなどにより親睦を計っております。

兵庫県におきましては、卒後10年を経て、各自、安定期を向かえたためか、会員の中より同窓会運営を見直そうという気運が高まり、近日幹部会の開催を予定しております。

今回のこの各クラスの活動状況の寄稿を、大いに参考として、今後の活動に役立ててゆきたいと考えております。

(今上 康夫)

大27回

私達、大学27回生が、大学を巣立ってから早や9年の歳月が流れました。私自身、毎日の診療や家庭内外の雑用に追われ、極く親しい友人を除いて、同級生と言えども顔を合わせる機会が本当に少なくなって来ました。そういう時、県の大阪歯科大学同窓会において、各学年ごとのクラス幹事を選出し、同窓会活動の活性化を計ろうというクラス幹事会が組織され、私が大学27回のクラス幹事を引き受けることになりました。

まず最初の仕事として、去年の5月24日に初めての兵庫飛翔会を神戸で開きました。同窓会当日の出席者は全体の約半数でした。出席者のほとんどは男性でしたが、中には、夫婦同伴の人もあり、和気あいあいとした雰囲気の中で、久しぶりに同級生と語り合う時間は何とも言えない楽しいものでした。

学生時代のこと、家族のこと、仕事のこと、あちらこちらで話の輪が広がっていました。出席者の中から、来年もまた集まろうという話が出た時、皆が楽しい時間を過ごしてくれたことに世話人として、何とも言えない満足感を味わいました。今後わが兵庫飛翔会といたしましては、年1回の同窓会を計画しております。

他の学年では、学術講習会を開いたり、家族参加の同窓会を開いておられる学年もあるようですが、われわれの場合は、まだ歴史も浅く、手さぐりの状態ですので、当分の間はあせらずのんびり年1回の同級生だけの宴を催して行きたいと考えています。世話人として兵庫飛翔会がこの先長く、皆に親しまれる会に成長してくれることを願っている次第です。

(井口 利彦)



大28回

大学28期卒業生の兵庫県同窓会の名称は、「兵庫県庚申（こうしん）会」と呼びます。大学6回生の時に、県人会として大阪は曽根崎町で第1回目の会合を持って以来、今年で満9年になります。卒業後は、結婚、転宅などで、なかなか皆、落ち着かず、毎年会員の数が変わるといった風でしたが、近年ようやく40名前後に定まってきました。

卒業後は、恩師を招いて講演後、宝塚で一泊したり、グリーンピア三木で一泊の後加西のフラワーセンターへ行ったり、色々と思い出を重ねて参りました。三年前からは、新宝塚、妙見富士、パインレークなど、年1回のゴルフコンペを行っております。年1回は最低会合を持つのが通例となっており、今後は、会員、家族がわきあいあいとなるように色々計画したいと思います。

誰かが困った時に、同級生同志が助けあい、良いことがあれば、一緒になって喜び合えるような、「兵庫県庚申会」に育てて行きたいと思っておりますので、諸先輩のご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

なお、ただ今会計は安田義信先生、庶務は堀内道郎先生が頑張っておられますので、会員の皆さんは、会費は安田先生まで、色々な連絡（住所変更等）は堀内先生までよろしく申し上げます。

それでは、また会う日まで、兵庫県庚申会の会員諸兄、元気で頑張ってください。

（文責 永谷 敏）



大29回

今年3月12日、神戸ポートピアホテルにて大学29期仁玖会の同窓会をとり行いました。ご多忙の中、来賓の先生方はじめ、90名程集まって頂き盛会の中、無事終えることができました。しかし、何分にも兵庫県での開催が初めてでもあり、進行の仕方等々、さまざまな反省点が残りました。

同窓会総会においては、年会費の納入方法についての検討も行われましたが、先輩方のご意見を参考に、これから決定していきたいと思っております。その節にはご指導の程宜しくお願い致します。

（大学29期兵庫代表 赤井 高之）

大30回 三寿会

われわれの過ごしてきた路は、高校から歯科大学そして歯科大学から臨床医へと、ほとんど他業種と接することのない路を辿ってきたことによる情報不足、知識不足は否定できないところである。学友が集い酒を酌み交し、心を割って語り合うことはストレスの解消となるが、悲しいかなわれわれは、同業者であると共に商売敵でもあるという辛い現実を背負っている。しかし、歯科医師会が学術団体であるならば、同窓会は完全なる親睦団体であろう。したがって他の諸要素は排除し、**「和を持って尊しとする」**という言葉の下に、われわれ三寿会（大30回）兵庫県支部では、これら諸問題を超越した組織作りを目指して、年に1～2回の食事会や今期が初回ではあるが、ゴルフ大会などの催しをはじめとし、各会員の繋りを強化するために、県内会員住所録の発行、連絡網の充実または会員の近況把握に勤めております。

（幹事 渡部 豊）



大31回

新緑の候、会員の先生方におかれましては、ますますご健勝のことと存知上げます。

われわれ31回（癸亥会）も卒業後5年がたち、開業された先生方もかなりの数になってまいり、各方面にてご活躍されておられるものと確信いたしております。

また本年度は、京都にて全国大会が開催されることになり、その前夜11日12日はわれわれ癸亥会同窓会を京都全日空ホテルにて開催いたします。

兵庫県の癸亥会の先生方もこぞって京都大会へご参加いただきますようよろしくお願い申し上げます。卒業後5年もたちますと同窓の先生方と顔を合わす機会も少なくなりますので年1回の同窓会でのたのしい一時をすごして相互親睦に役立てていただきたく存じます。

（瀧野記）

大33回

燦美会兵庫県支部は発足以来、年度毎に支部総会・懇親会を行っています。

昭和60年11月30日 有馬温泉「古泉閣」

昭和62年2月7日 城崎温泉「西村屋」

昭和63年2月6日 第1回ゴルフコンペ
（西宮高原G.C.）

2月7日 宝塚温泉「水明館」

毎回15人程度の参加ですが、開業、診療方技術、結婚、スポーツなど なごやかに、時には息あらく話しあい、夜明けまでという会員も多いようです。役員、慶弔、会費と運営体制も徐々にできてきており、今後充実していきたいと思っています。次回は、赤穂にて行う予定です。

今年は、11月19日（土）に行われる学年総会（新神戸オリエンタルホテル）の担当支部となっており、会員団結し無事大役を果たしたいと思っております。
（中原 範人）

予 告

大阪歯科大学兵庫県同窓会第34回会員大会

日 時 昭和63年10月15日（土）午後2時 受 付
午後3時 会員大会
午後5時 懇 親 会

場 所 新神戸オリエンタルホテル（新幹線新神戸駅西側）北野町1丁目

TEL (078) 291-1121

参加会費 会 員 10,000円

家 族 10,000円

新入、新卒会員歓迎も合わせて盛大に催したいと存じますので、ご家族ともども多数ご参加下さるようお願い申し上げます。申込書は後日事務局より郵送いたします。

昭和63年8月1日

発行所 大阪歯科大学兵庫県同窓会

神戸市中央区山本通5丁目7-18

電話(078)351-4181

編集発行人

志 築 照 和